



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メイテック

コード番号 9744 URL <https://www.meitec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國分 秀世

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 上村 正人 TEL 050-3033-0945

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	78,936	10.4	9,562	26.7	9,667	27.2	6,492	29.4
2021年3月期第3四半期	71,487	△4.9	7,546	△23.5	7,598	△23.3	5,016	△25.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,689百万円 (28.3%) 2021年3月期第3四半期 5,212百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	238.98	—
2021年3月期第3四半期	182.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	73,695	42,752	58.0
2021年3月期	75,038	44,472	59.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 42,752百万円 2021年3月期 44,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	68.50	—	115.50	184.00
2022年3月期	—	78.50	—		
2022年3月期(予想)				107.00	185.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	10.7	12,300	20.2	12,500	21.3	8,400	19.5	308.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	28,600,000株	2021年3月期	28,600,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,850,337株	2021年3月期	1,390,253株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	27,166,075株	2021年3月期3Q	27,563,788株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（9ヶ月間：2021年4月1日～2021年12月31日）においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、断続的に経済活動が制限されたため、景況は厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、持ち直しの動きが見られたものの、海外における新たな変異株の急拡大などにより、先行き不透明な状況が継続しました。

当社の主要顧客である大手製造業各社では、次代を見据えた技術開発投資の持ち直しが進み、当社の受注も回復基調となりました。

このような状況の中、中長期の成長を見据えた積極採用により、2021年4月入社の新入社員764名（MT：462名、MF：302名）を含めて、12月末のエンジニア社員数（MTとMFの合計）は11,260名（前年12月末比+585名、+5.5%）となりました。また、受注に応じて配属を進めた結果、稼働人員数が増加しました。さらに時間外労働の回復により、稼働時間は前年同期より増加しました。

連結売上高は、前年同期比74億48百万円（10.4%）増収の789億36百万円となりました。連結売上原価は、エンジニア社員の増員に伴う労務費増加等により、前年同期比46億18百万円（8.6%）増加の580億79百万円、連結販売費及び一般管理費は、採用関連費用の増加等により、前年同期比8億14百万円（7.8%）増加の112億94百万円となりました。連結営業利益は、前年同期比20億15百万円（26.7%）増益の95億62百万円となりました。

連結経常利益は、前年同期比20億68百万円（27.2%）増益の96億67百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比14億75百万円（29.4%）増益の64億92百万円となりました。

詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2022年3月期第3四半期決算説明資料」を参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,132	43,374
受取手形及び売掛金	14,600	14,987
仕掛品	139	337
その他	1,013	1,205
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	60,885	59,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,373	3,248
その他(純額)	1,749	1,738
有形固定資産合計	5,122	4,986
無形固定資産		
その他	495	381
無形固定資産合計	495	381
投資その他の資産		
繰延税金資産	7,684	7,595
その他	854	830
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	8,535	8,423
固定資産合計	14,153	13,792
資産合計	75,038	73,695
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	1,214	1,738
役員賞与引当金	187	167
賞与引当金	6,801	4,247
その他	6,069	8,286
流動負債合計	14,272	14,440
固定負債		
退職給付に係る負債	16,294	16,502
固定負債合計	16,294	16,502
負債合計	30,566	30,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	6,155	6,155
利益剰余金	40,903	42,116
自己株式	△6,159	△9,290
株主資本合計	45,898	43,981
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662	△662
退職給付に係る調整累計額	△763	△566
その他の包括利益累計額合計	△1,426	△1,229
純資産合計	44,472	42,752
負債純資産合計	75,038	73,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	71,487	78,936
売上原価	53,460	58,079
売上総利益	18,027	20,856
販売費及び一般管理費	10,480	11,294
営業利益	7,546	9,562
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	48	103
その他	8	9
営業外収益合計	57	114
営業外費用		
コミットメントフィー	1	1
支払手数料	3	6
その他	1	0
営業外費用合計	6	9
経常利益	7,598	9,667
特別損失		
減損損失	4	4
その他	0	0
特別損失合計	4	4
税金等調整前四半期純利益	7,593	9,662
法人税等	2,577	3,170
四半期純利益	5,016	6,492
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,016	6,492

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	5,016	6,492
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	195	197
その他の包括利益合計	195	197
四半期包括利益	5,212	6,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,212	6,689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当該会計方針の変更により四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。

当該会計方針の変更により四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。